

活動報告

団体名	鍼灸地域支援ネット
活動名	熊本地震援助者のための傾聴研修と鍼灸マッサージ傾聴サロン活動
活動期間	2017年7月～2018年3月
活動の成果	<p>平成30年1月8日に熊本市『くまもと県民交流館パレオ9階』にて、被災者との「援助的関係性の構築」を目的とした、『人の苦しみに直面する援助者のために』～対人援助理論で分かる復興支援と臨床現場の最前線～を開催しました。</p> <p>このセミナーは、今後も長期間にわたる復興活動を支える医療・福祉職や支援団体職員ら地元の支援者が『対人関係を用いた援助』の概念を知り、『傾聴』という行為が相手の苦しみを和らげることに繋がるについて理解することで、支援活動のモチベーションが維持されることを目的としました。そして、活動後のサポートとして任意による会話記録の作成を行い、自身の支援活動が被災者にとって『援助』となっているかを確認する添削を行いました。これにより支援者を支援する活動が出来ました。支援者が援助的 개념を理解し、対人援助論による傾聴を身につけることで、多くの被災者の苦しみを和らげ、軽くし、無くすることに繋がりました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震発生から2年が経過しました。被災された方にとって、これからが大変な歩みになるかと思われれます。その中で県外（主に関西）より被災者支援を行ってきた団体が撤退するにあたり、ボラサポ九州の助成金を利用して『援助的関係性の構築』を目的としたセミナーを行う事が出来ました。</p> <p>皆様お一人お一人のお気持ちを、被災された方にお伝えするには今後も地元で復興に携わる支援者の方々の存在が大きくなります。私たちの活動が地元支援者を通じて被災された方々の生きる意味を見直すきっかけになります。</p> <p>どんなに厳しい状況になっても助け合って生きる姿を、赤い羽根中央共同募金会ボランティアサポートの助成金をいただくことで実感することが出来ました。もう、このような厳しい災害は発生して欲しくありませんが、この経験を生かしてこれからも地域の皆様の役に立てるよう、努力していきたいと想います。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)





特定非営利活動法人 鍼灸支援ネット主催

人の苦しみに直面する援助者のために

～対人援助論・現象学で変わる復興支援と臨床現場の最前線～

2018年1月8日 くまもと県民交流館パレオ

鹿児島大学大学院 医学部総合研究科 精神学講座消化器・乳腺甲状腺外科学

特定非営利活動法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会 研修講師
的場康徳

gromit@dog.plala.or.jp